

ほこた市

令和6年7月発行 No.76



議会だより

銚田のメロン 世界一! ~6月6日は銚田市メロンの日~



令和6年第3回定例会の予定……裏表紙

議会映像配信の お知らせ



生中継・録画中継で
本会議を傍聴できます。

銚田市議会 中継 [検索](#)

議会だより掲載写真は
随時募集中だよ!
詳しくは裏表紙を
チェックしてね!



銚田市マスコットキャラクター
ほこまる

令和6年第2回定例会の審議結果は? …… P2 ~ 5
 ここが聞きたい!一般質問
 9人が質問しました …… P6 ~ 11
 委員会活動報告 …… P12
 令和6年第2回臨時会の審議結果は? …… P13
 視察研修報告 …… P14 ~ 15

令和6年第2回定例会

6月6日(木) 本会議

・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸般の報告

・行政報告並びに市長提出議案
説明

・議案第1号から第7号及び
報告第1号から第3号

6月11日(火) 本会議

・一般質問

6月12日(水) 本会議

・一般質問

6月17日(月) 総務企画常任委員会

6月18日(火) 経済建設常任委員会

6月19日(水) 厚生文教常任委員会

6月21日(金) 本会議

・議案第1号から第7号質疑
討論・採決

・請願第06・1号委員長報告
質疑・討論・採決

・閉会

概要

令和6年第2回定例会は、6月6日から6月21日までの16日間の会期で開かれました。

議案は、市長から休日の部活動の地域移行に向けた実証実験に要する経費等を増額する一般会計補正予算(第2号)など7件が提出されました。

一般質問では、9人の議員から通告があり、生分解性マルチへの補助、DX化への意欲といばらき電子申請・届出サービス利用、祭りを通じたコミュニティづくりなどについて質問をしました。

(P6～P11)

総務企画常任委員会では「附帯決議(消防団活動事業・地域防災計画推進事業)の進捗」、「広報並びに情報発信事業における市民参画の取組みと活用推進」など3件についての所管事務調査、経済建設常任委員会では「酒沼・鹿島灘海岸地区道路整備事業の進捗」、「鹿島灘海浜公園拠点化事業の進捗」の2件の所管事務調査、厚生文教常任委員会では請願審査と併せて、「部活動の地域移行の進捗」など2件についての所管事務調査が行われました。

(P12)

今定例会では、提出された議案はすべて可決され、請願第06・1号は趣旨採択されました。

(P5)

傍聴についてお願い

～傍聴の際は以下の点にご留意ください。～

- マスクの着用は、個人の判断に委ねます。
- 咳エチケットを励行してください。
- 手洗い手指の消毒を徹底してください。
- 熱がある場合や体調不良(だるい・咳が出るなど)の場合は、傍聴参加を自粛願います。

本会議

3月、6月、9月、12月の4回開催

場所

銚田市議会議場(銚田市役所3階)

開会

午前10時

受付

銚田市役所3階 議会事務局前
(事前の申込不要)



各議員の賛否が分かれた議案等

会議名	議案等	議員名																討論 ※議案等について		採決結果		
		根正史	久保田豊	土子勝也	羽成洋一	鬼澤治男	高埜栄治	亀山彰	小沼勝	根岸真	水上美智子	入江晃	岩間勝栄	井川茂樹	米川宗司	山口徳	田口清一	堀田正衛	高野衛		賛成	反対
第2回定例会	第4号 茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	水上	高野	可決
	請願06-1号 鹿行地域の医療体制充実・なめがた地域医療センターの機能回復を、市議会として、茨城県と茨城県厚生連に求める請願書(委員会審査結果:趣旨採択)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	久保田	高野	趣旨採択※1

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 退：退席 欠：欠席 除：除斥

※1 請願第06-1号の討論は、委員長報告に対する賛否を表すものです。委員会審査結果の「趣旨採択」では不十分であり「採択」すべきであるということで、原案に対し賛成し、委員長報告に対し反対をしているものです。結果、「趣旨採択」の賛成の議員が16名、「採択」すべきとして「趣旨採択」に反対が1名という結果です。

全会一致で可決した議案等

会議名	議案等	
第2回定例会	第1号	鉾田市の豊かな自然環境の保全と太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の制定について
	第2号	鉾田市健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
	第3号	茨城租税債権管理機構規約の変更について
	第5号	令和6年度鉾田市一般会計補正予算(第2号)
	第6号	鉾田市教育委員会教育長の任命について(安原 優氏)
	第7号	物品購入契約の締結について

議会傍聴希望の皆さまへ

本会議は、原則として鉾田市議会傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢、電話番号を記入していただければ、誰でも傍聴することができます。(児童及び乳児は議長の許可が必要)

傍聴をご希望の方は、傍聴を希望される当日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

議場内のルール厳守にご協力を！



私語や拍手、高笑い禁止
議場内は静粛に



携帯の使用禁止
マナーモードに



議場内飲食禁止



庁舎内禁煙



可決

市民の安全と豊かな自然環境保全のために！

議案第1号 鉾田市の豊かな自然環境の保全と太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の制定について

太陽光発電事業と地域との調和を図るとともに、市民の安全で安心な生活確保と本市の豊かな自然環境の保全に寄与するため、太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する基本的な事項等を定める新たな条例を制定するもの。

【背景】

再生可能エネルギーの利用促進施策として、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入が全国的に急速に拡大している中、本市でも太陽光発電の設置が増加しており、土砂災害や景観・環境への影響などが懸念されている。また、営農型太陽光発電をはじめとした農地への設置も多く見受けられる。

【概要】 ※一部抜粋

- 事業区域の制限 ①禁止区域の設定 ②抑制区域の設定
- 周辺地域住民等への説明等
 - ①発電出力50kW以上又は抑制区域に設置する場合は説明会を開催
 - ②発電出力50kW未満の場合は、周辺地域の住民等への説明・周知
- 施行日 令和6年9月1日

主な質疑

問 設置に対する届出制であり、許認可ではないことから設置者に対して規制にならないのではないか？

答 現場を見ながら適宜指導し、悪質な場合は公表していくことによって抑制できると考えている。



可決

休日の部活動の地域移行に向けて

議案第5号 令和6年度鉾田市一般会計補正予算(第2号)

国の制度改正に伴い10月から予定されている児童手当拡充に要する経費、補助事業を活用した農業者の施設整備を支援する補助金、休日の部活動の地域移行に向けた実証事業に要する経費等を増額するもの。

○部活動地域移行実証事業177万円

現在、国において中学校の部活動改革が進められており、これまで学校主体の休日の部活動を、新たに地域主体で活動する地域クラブ活動に移行することを目指すもの。

令和6年度は、野球・サッカー・吹奏楽の合同部活動とともに、新たなスポーツとしてフラッグフットボールの地域クラブ活動を実証事業とし、地域移行に係る効果的な手法の検討や課題の洗い出しを行っていく。



部活動地域移行のイメージ(検討会議提言内容)

移行前	曜日	月	火	水	木	金	土	日
	活動区分	休養日	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	休養日
	活動時間		2時間	2時間	2時間	2時間	3時間	

移行後	曜日	月	火	水	木	金	土	日
	活動区分	休養日	部活動	部活動	部活動	部活動	地域クラブ	休養日
	活動時間		2時間	2時間	2時間	2時間	3時間	



■ ■ 請 願 審 査 ■ ■

趣旨採択

請願第06-1号

鹿行地域の医療体制充実・なめがた地域医療センターの機能回復を、市議会として、茨城県と茨城県厚生連に求める請願書



【請願内容】

- ①鹿行地域の医療体制の維持・充実、なめがた地域医療センターの医師や運営費の確保
 - ②現行の全部門の診療体制を維持すること
 - ③救急受け入れ体制再開のための方策を検討し実施すること
 - ④入院・手術機能を段階的に回復すること
- 以上を行うよう茨城県及び茨城県厚生連へ要請するもの

【審査経過】

厚生文教常任委員会に付託された本請願を、請願紹介議員及び参考人の出席を求めて審査しました。審査においては、なめがた地域医療センターの現状、これまでの経緯や経営状況の質疑を行い請願の主旨について質しました。茨城県厚生連労働組合の医師確保に向けた取り組みを確認したところ、茨城県に要望活動を毎年行っているが全国的に医師不足であることから、改善には至っていないとのことでした。

なお、委員からは医療体制充実の必要性については理解できるとの前向きな意見があった反面、まちづくり計画が進まず病院開院後も長く周辺開発がされなかったことが経営悪化の原因ではないかなどの意見がありました。

審査の結果、本請願は願意について妥当であると判断しましたが、採決の結果**全会一致で趣旨採択**となりました。なお、本会議においては**賛成多数で趣旨採択**となりました。

※趣旨採択とは、願意は妥当であるが、実現性の面で確信が持てないといった場合に、不採択とすることもできないとして取られる請願に対する決定方法です。

■ ■ 請 願 ・ 陳 情 を 受 理 し て い ま す ■ ■

行政に対する市民の意見・要望等について、年齢や国籍などに関わらず、どなたでも、市議会に対し請願・陳情を行うことができます。

●提出方法

決められた様式はありません。見本を参照し、銚田市議会議長宛てに提出してください。

●受付

議会事務局で随時受け付けていますが、原則として**定例会開会予定日の8日前**までに提出されたものを、その定例会で取り扱います。それ以降に提出されたものは、次の定例会に付議されます。

※次回定例会予定は裏表紙をご覧ください。

●要件

「請願」は1名以上の紹介議員の署名または記名押印が必要です。

見 本

(表 紙)	
令和 年 月 日	
銚田市議会議長 様	
紹介議員 氏 名	(印)
	(署名または記名押印)
※陳情の場合不要	
〇〇〇に関する請願(陳情)書	
請願者 住 所	
(陳情) 氏 名	(印)
	(署名または記名押印)
(連名の時は、別紙に署名簿を添え、表紙に代表者を記載し、外〇〇名とする)	

(本 文)	
〇〇〇に関する請願(陳情)書	
請願(陳情)趣旨	
請願(陳情)理由	



詳細については、市議会HP内の請願・陳情ページを参照してください。



ここが聞きたい!! 一般質問

議員名	質問事項
高野 衛 P7	1 知的障害者投票支援制度について
	2 水害による河川等の復旧と道路側溝の整備について
	3 保育園児等の給食を喉に詰まらせる事故の対応について
	4 銚田マラソンの再開について
	5 生分解性マルチへの補助について
	6 塔ヶ崎坂上交差点への時差式信号機について
	7 デジタル社会におけるインターネットの活用について
亀山 彰 P7	1 DX化への意欲といばらき電子申請・届出サービス利用について
	2 公用バス等の運用と労働環境について
	3 消滅可能性自治体の烙印を押された本市と大洗鹿島線をはじめとする地域公共交通事業者応援と利用者への支援について
水上 美智子 P8	1 みのわ水鳥公園について
	2 帯状疱疹ワクチンの助成について
	3 不登校の児童生徒の健康診断について
	4 妊産婦・乳児タクシー助成について

議員名	質問事項
小沼 勝 P8	1 旭中学校区統合小学校整備事業の進捗について
	2 新庁舎・公共施設等整備事業の進捗について
高埜 栄治 P9	1 日本一の野菜産出額を誇る持続性ある銚田市農業の推進について
	2 社会的援護の必要な市民の「いのち」を守る各種取組みについて
	3 カーボンニュートラルを詠う「地球温暖化対策実行計画」目標達成のための公共施設・道路・民地等の緑化推進について
米川 宗司 P9	1 副市長について
	2 静かな退職とカスハラについて
土子 勝也 P10	1 販路拡大支援事業について
	2 地域魅力発信事業について
	3 中小企業等の支援事業について
	4 3D都市モデルについて
関根 正史 P10	5 連携協定先との活動について
	1 鳥獣被害について
	2 猟友会について
	3 農産物の盗難被害について
	4 教育環境の変化について
久保田 豊 P11	5 幼児教育について
	1 中心市街地のまちづくりについて
	2 祭りを通じたコミュニティづくりについて
3 市が保有する災害備蓄品等について	



銚田市議会ホームページで
一般質問の会議録を公開しています!

- ①銚田市のホームページへアクセス
「<http://www.city.hokota.lg.jp>」
- ②市ガイド内の「銚田市議会」をクリック
- ③会議録をクリック

※今定例会の会議録は9月上旬公開予定です。



また、各議員の2次元コードを読み込むことで、
一般質問の録画放送を再生できます。

銚田市議会 会議録

検索



一般質問とは?

議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。ここでは、一般質問を要約して掲載します!!



環境に配慮した持続的農業の推進を

高野 衛



問

生分解性マルチは、土壌中にすき込むと微生物により分解するマルチのことであり、近年農業に従事する労働力が減少する中、省力化に有効とされている。しかし高価なため、普及は少ない現状である。インターネット等で価格を調べるとポリエチレンフィルム等の従来品と比べ、1キロ当たり約10倍の価格差は7倍から10倍と言われている。

野菜生産額日本一の本市として、野焼き対策にも有効であることから環境に貢献できる。持続的農業に向け従来品との差額を補助することにより、利用の促進・拡大が望めると考える。

そのためには、国や県、市の補助支援は特に重要と思うが本市の考えを伺う。

答

【環境経済部長】現在、市として生分解性マルチへの補助は行っていません。しかし、市内の圃場にて実証実験を開始している。

取組への経緯として、従来の使用済み農業用プ

ラスチックの処理について、環境負荷軽減かつ農業者の負担軽減を図るため、昨年県へ要望を行った際に、国のみどりの食料システム戦略緊急対策交付金を活用した処分費用の削減や、省力化に期待のできる生分解性マルチの実証実験の提案をされた。JAなどと協議を行い、生分解性マルチが本市の実情に適しているか検証するため、本年度実証実験を行い、この結果を基に、有効性や費用対効果を検証し、生分解性マルチの普及を図りながら、既存の農業用使用済みプラスチックの排出削減を図りたい。

引き続き、使用済み農業用プラスチックの処理について、環境負荷の軽減や農業者の負担軽減が図られるよう、関係機関と連携を図ってまいります。

【環境経済部長】現在、市として生分解性マルチへの補助は行っていません。しかし、市内の圃場にて実証実験を開始している。

取組への経緯として、従来の使用済み農業用プ

ラスチックの処理について、環境負荷軽減かつ農業者の負担軽減を図るため、昨年県へ要望を行った際に、国のみどりの食料システム戦略緊急対策交付金を活用した処分費用の削減や、省力化に期待のできる生分解性マルチの実証実験の提案をされた。JAなどと協議を行い、生分解性マルチが本市の実情に適しているか検証するため、本年度実証実験を行い、この結果を基に、有効性や費用対効果を検証し、生分解性マルチの普及を図りながら、既存の農業用使用済みプラスチックの排出削減を図りたい。

DXの推進・積極的な活用を

亀山 彰



問

自治体ごとにDX化への取組は様々である。県と県内市町村で構築し、10年前から運用されている『いばらき電子申請・届出システム』に関しては、県内ほかの市町村と比べて活用が非常に少ない印象である。本市のDX化の意気込みが感じられない。本市のDX推進戦略について伺う。

答

【政策企画部長】DX推進の進め方については、市民の利便性を図る地域DXと、業務の効率化を図る行政DXの2つの観点から取組を進めている。

地域DXでは、デジタル技術を活用し、本市が抱える様々な課題の解消や、今後想定される問題に対し早期に対策を講じること、市民の利便性の向上を図る。そのためには、市民のニーズを把握するとともに、将来的な見込みを考慮し、最適なサービス提供の方法を検討する必要がある。また、導入するだけでなく、サービスの見直しや

利用者増加のための周知を行い、継続した提供を行えるように取り組む。

行政DXでは、デジタル技術を活用し、庁内の業務効率化を図る。現在の課題と目的を明確にし、単に便利だからというだけではなく、導入に当たっては全庁横断的な利用を前提として費用対効果を十分検証し、市民が必要なサービスを提供できるように取り組んでいく。

提言

大学などで県外にも本市で働きたい、親がいるから住みたいと思っている人が居ると思う。本市においても職員採用試験などでDXを活用し、大学を休まないでも試験を受けられるような環境を作る必要がある。そうすることで県外に住んでいる銚田市出身の方に本市を選んでもらえるように、DXを活用して職員採用試験の窓口を広げ、人材確保にもつなげていきたい。





水上 美智子

带状疱疹ワクチンに助成を



問 令和5年度の带状疱疹ワクチンの接種状況について、茨城県内の助成の取組をしている自治体について伺う。

答 【福祉保健部長】市内15医療機関に聞き取りを行い、市外の方を含んだ件数で、14医療機関において約250件の接種実績である。ワクチンの種類では、1回接種の生ワクチンが3割程度、2回接種の不活化ワクチンが7割程度となっている。令和4年度の実績と比較すると、約100件の増となっている。

再質問 県内の助成の取組については、助成金額など交付条件に違いはあるが、今年度15自治体の実施している。

再質問 近隣自治体において、带状疱疹ワクチン助成を行っていることから、本市の見解を伺う。

答 【福祉保健部長】コロナ禍の長期化による免疫力の低下により带状疱疹の発症が増大し、薬品会社のテレビCMの周知力も相まって、

全国的に接種費用の一部を助成する市町村が増えている。本市においても、令和6年度当初予算を編成するに当たり、国、県、県内市町村の動向を注視していたが、新型コロナウイルスワクチンの予算計上などもあり、限られた財源の優先度や予防接種法に定められていない任意接種であることを踏まえ、予算化については見送った。

再質問 市独自の助成については、もう少し国の動向を注視する必要があると判断した。

再質問 発症予防や対処法については、引き続きホームページや広報紙のほかチラシなどを活用し、発症の原因、症状説明、予防対策などについて正しい認識を持っていただくよう周知徹底に努めたい。

提言 助成をしている県内の15の自治体のうち、6市町村は、不活化ワクチンに対して1万円程度を2回助成している。そういう先進事例をしっかりと調査していただき、前向きな検討を今後していただきたい。

新庁舎・公共施設等整備事業のスケジュールと市民への周知方法は

小沼 勝



問 建設候補地の選定にあたり、特に用地取得が重要である。選定の進捗状況を伺う。

答 【政策企画部長】基本構想検討委員会において建設候補地エリアの選定を基本構想と併せて令和6年10月までに取りまとめ、その後、市で最終決定し、令和7年度上半期の用地取得を目指す。

再質問 市民が最も関心のある総事業費について市民への周知方法を伺う。

答 【政策企画部長】現在、基本構想検討委員会において、新庁舎及び一体整備を行う公共施設の施設規模の検討を行っているっており、その施設規模や他自治体の実績などを基に概算工事費を算出し、取りまとめた内容を市民へ示していきたいと考えている。また、財源については、合併特例債をはじめ、地方交付税措置のある有利な地方債の活用を検討し、基本構想が整った段階で、正しく情報を伝えるため市民説明会を開催

していく考えである。

再質問 総事業費の算出れまでの文化施設建設計画の経緯を踏まえた検討をする必要があると思うが、どのような積算方法を考えられているのか。

答 【政策企画部長】事業費については、集約化するメリットを最大限に活かして、お互いに協調して使えるものは共有を図り、経費の削減に努めていきたい。積算方法は、基本構想、基本計画から基本設計、実施設計に至るまで段階を追って算出することとなり、都度、事業費は変化することと認識しているが、その中で物価上昇や社会情勢の変化について注視していかなければならない。

提言 令和12年度の事業完了を目指すのであれば、特に用地取得などしっかりとスケジュール感で取組む必要がある。また、施設集約の意義やその内容、財源を含めた総事業費について市民にしっかりと説明して欲しい。



持続性ある銚田市農業の推進の方策は

高埜 栄治



- 問** 本市農業の現状把握と課題について伺う。
- 答** 【環境経済部長】主要品目メロン等4品目の就農経営体数は減少傾向にあるが産出額については増加傾向となっている。親元就農経営体育成支援事業など国及び県の事業を活用しつつ、後継者及び新規就農者支援に努めていきたい。課題である農地の管理保全では、外国人及び農地所有適格化法人に対し、農地保全及び農業使用について営農指導を図っていきたい。
- 再質問** 【農業委員会事務局長】過去3年間の農地の外国人取得状況は10件であり、賃借権設定は16件であった。課題としては、営農状況が悪い例が挙げられる。
- 再質問** 地域計画策定の進捗状況と農業振興の具体的取組について伺う。
- 答** 【環境経済部長】農業意向アンケート結果に基づき、10年後の農業の在り方を検討するための目標地図の素案を作成し、市内33地域で協議機会を設け、令和6年度末までに地域計画を策定する。また地域計画策定推進緊急対策事業補助金を活用し推進にあたる予定である。
- 再質問** 本県においては茨城大学農学部や筑波大学の生物資源学類があり、学生スタッフを有効に活用し計画づくりの事務量を補完し、かつ銚田市農業のPR、併せて農学を学ぶ若者から銚田農業へのアイデア出しの機会を創ることが考えられると思うがいかがか。
- 答** 【市長】提案については、教育振興の観点からも地元高等学校や農業系大学との連携を図ることについてなど前向きに検討したい。
- 再質問** 【環境経済部長】食料・農業・農村基本法が改正されたことを受け、国の方針を注視しながら、本市地域計画策定にあたり農業者との意見を交えつつ課題を整理し持続ある農業に対する取組を研究していきたい。
- 提案** 持続性ある農業を展開するために、農業関係者が参画して農業振興計画を策定し、夢の持てる農業の姿を示していただきたい。

副市長が考える立ち位置、事業推進とは

米川 宗司



- 問** 国と地方で培った行政経験や知見を活かし、本市に合った解決策を示すとのことだが、本市での立ち位置について考えを伺う。
- 答** 【副市長】市長が掲げる政策を具現化するよう補佐・調整役としての役割があると考える。行政経験を活かし、市政発展のため全力で取り組みたい。
- 再質問** 地域資源に磨きをかけることにより、本市は大きく進展する可能性がある。本市に合った事業を推進することが重要とのことだが、思い描く考えを伺う。
- 答** 【副市長】本市地域資源の価値を客観的に把握することが重要である。時間の許す限り訪問し、歴史・文化等の地域特性を把握した上で、本市に合った形の事業を積極的に提案し、地方創生を強力に推進したい。
- 再質問** これから事業推進に向けて、ますます職員のスキル向上が求められるが、どのように目指すのか伺う。
- 答** 【副市長】新庁舎・公共施設等整備をはじめ、大事業が今後予定されることから、職員のスキル向上は、必要不可欠である。スキル向上で必要なことは、スキル見える化と考える。スキル向上の先にあるメリットを具体的に見せることが重要と考える。現状とギャップを埋めるキャリアアップ策定、人事評価との連動等の取組を継続的に行い、職員スキル向上に繋げたい。
- 再質問** 本市には職員一丸となつて取り組まなければならない大プロジェクトがある。職員スキルをどう改革していくのか伺う。
- 答** 【副市長】就任以降、職員と話す中で、調整力が若干不足していると思う。今後の大型公共事業を行うには、国・県との相互調整が必要で、様々な補助金等制度情報をいち早く取り入れられるような職員スキル向上が必要と考える。国に職員を派遣する行政事務研修員等の取組の検討を進め、様々な財源確保ができるような調整力のある職員を育てたい。



3D都市モデルの整備状況は

土子 勝也



問

本市の3D都市モデル整備事業について、都市計画、土地利用、災害対策、交通シテム最適化など様々な目的に活用できると思うが、その活用状況を伺う。

答

【建設部長】本市の活用事例は、新幹田駅周辺のまちづくりをテーマにワークシヨップの開催と市内を散策するスマートフォンアプリを開発した。

今後、全庁において、3D都市モデルデータが活用できるよう整備してある。

再質問

農業・観光・災害時のハザードマップへの活用の検討について見解を伺いたい。

答

【建設部長】全庁どの課でも使えるようデータは整備してある。災害や観光まで使えるかどうか、各課で研究していきたい。

提言

本事業の取組みについて、広報紙やホームページに掲載し、しっかりとPRいただきたい。

問

茨城セイバースとの今後の活動は

答

【教育部長】青少年の健全育成、地域産業、経済の活性化などを目的に連携協力協定を締結し、フラッグフットボール教室の開催や多目的の初心者向けスポーツ体験教室を開催し、茨城セイバース選手に講師として協力いただいている。

再質問

今年度からは、中学生のジュニアチームの活動がスタートし、部活動地域移行に係るクラブチームとして大いに期待しているところである。

【建設部長】全庁どの課でも使えるようデータは整備してある。災害や観光まで使えるかどうか、各課で研究していきたい。

提言

本事業の取組みについて、広報紙やホームページに掲載し、しっかりとPRいただきたい。

答

【市長】前向きに検討していきたい。

農作物盗難の実態及び支援は

関根 正史



問

4月、5月と市内において収穫間際のメロンが盗まれるという窃盗事件が相次いで発生した。農産物の盗難は、農家にとって本当に大きな問題である。近年多発している農作物の盗難被害の実態の把握、防犯対策や支援について伺う。

答

【市長】農産物等の盗難については、市内で多発しており、大変危惧しているところである。このため、直接県知事や県警本部長、鉦田警察署長へ対策を依頼した。また、先日開催された茨城県議会の中でも田山県議会議員から県警本部に対し、防犯対策をしっかり取り組むよう指示されたと同っている。さらに、副市長とともに県知事に、改めて防犯対策を訴えていきたい。

今後、本市で安心した営農が図れるよう、関係機関と連携を図りつつ、農産物を含め盗難への取組強化を行っていきたい。

答

【環境経済部長】警察署を通じて情報を把握している。令和5年

度の被害として、農作物が計13件、また農作物以外に、農機類の盗難で計11件の盗難があったと伺っている。

再質問

全国的に盗難被害がある中で、どこよりも早く農家を守る支援策を打っていただきたい。何か新しい支援策を考えているのか併せて伺う。

答

【市長】全国の他自治体の事例ではなく、本市が先陣を切って先進事例となるような対応をしていきたい。

提言

農作物の盗難に本当に憤りを感じており、生産者にとっては、営農意欲を失わせる深刻な事態である。盗難被害を防ぐには生産者自身の防犯意識の向上並びに防犯対策を講じなければならぬ。本市としても被害の実態を把握し、防犯の啓発運動に努めていただきたい。



祭りを通じたコミュニティづくりを



久保田 豊



問 鉾田のお祭りに対する執行部の考えと支援について伺う。

答 【環境経済部長】鉾田のお祭りは、神事祭礼で、宗教行事であることから、憲法規定の政教分離の原則により、公金を宗教上の組織や団体に支出できないため、直接支援することはできない。しかし各町内のお祭りにあつては、地域の連帯感や自治意識向上のためのコミュニティ組織であるので、宝くじコミュニティ助成事業などを活用し支援していく。

提言 このお祭りを観光・地域資源として捉え、交流人口の拡大を図り、地域活性化につながるよう各方面に周知していきたい。

再質問 コミュニケーションづくりをする上で、有効な鉾田のお祭りの取組について伺う。

答 【環境経済部長】お祭りが催されることにより、市外来訪者の増加、また地元から離れた方がふるさとに戻ってくる、様々な世代間の交流が図られるなど、地域のつながりが増し、コミュニティの活性化などの好循環をもたらすほか、交流人口の増加や、観光誘客へ向けての重要な観光・地域資源の役割を、お祭りは担うものと考えている。

提言 今後の地域コミュニティを次代につなげていくためにも、活動が継続されることは非常に意義が高いと認識している。行政の関わり方、支援の在り方について、今後も研究していきたい。

提言 一般社団法人など、お祭りを通して地域を盛り上げようとする団体もあるので、その団体等のつながりも今後検討いただきたい。ほかにも祭りを通じたコミュニティは様々あると思う。地域の未来を切り開く一つの手立てになるかと思うので、是非とも検討いただきたい。

お知らせ

令和6年度大竹海岸鉾田海水浴場開設中止!

砂浜の浸食による影響が大きく、護岸ブロックの破損や砂浜の状況等を鑑み、市民や来場者の皆様の安全を最優先に考慮した結果、安心・安全な海水浴場を開設することは非常に困難であると判断し、今年度「大竹海岸鉾田海水浴場」は開設中止となりました。



鉾田市議会では、令和6年6月21日の全員協議会にて執行部より説明を受けましたが、改めて令和6年7月3日に全員協議会を開催し、現地視察を実施しました。



現地確認し、安全対策等今後の対応について意見が出されました。



委員会活動報告

総務企画常任委員会

6月17日

【所管事務調査】

○附帯決議(消防団活動事業・地域防災計画推進事業)の進捗について

様々な社会要因により、なり手が不足する消防団について、市は検討委員会を設置し再編を含めた消防団のあり方について検討を進めるとのことでした。

また地域防災計画にあつては、国・県と調整の上、実効性ある計画改正に取り組みたいとのことでした。

○広報並びに情報発信事業における市民参画の取組みと活用推進について

市は広報紙をはじめメールやSNSによる情報発信に合わせ、今年度より市民の利便性向上と業務効率化を目的に、市民からの問合せをチャット(対話形式)で自動応答するAIチャットボットを試験導入するとのことでした。

このほか、将来の定住等の場となるよう次世代の人材育成に向けて取り組む移住定住促進事業について調査が行われ、明確な数値目標設定や評価を行うべきとの意見が出されました。



経済建設常任委員会

6月18日

【所管事務調査】

○涸沼・鹿島灘海岸地区道路整備事業の進捗について

執行部から上釜地内の道路整備について、一部路線変更した上で進める旨の説明がありました。

大雨時の涸沼駅周辺が水没してしまうことから、先行した駅周辺の整備や涸沼駅から国道51号線までの路線の変更を含めた検討が必要ではないかとの意見が出されました。

○鹿島灘海浜公園拠点化事業の進捗について

執行部からこれまでの経緯や事業の考え方、目指すべき方向性について説明がありました。進入路や大竹海岸駐車場の取扱い、農産物販売など茨城県をはじめとして各関係機関、庁内関係課との速やかな協議を望む意見が出されました。



厚生文教常任委員会

6月19日

【請願審査】

○請願第06-1号

鹿行地域の医療体制充実・なめがた地域医療センターの機能回復を、市議会として、茨城県と茨城県厚生連に求める請願書

審議結果：趣旨採択(関連記事P5)

【所管事務調査】

○保育所・幼稚園・小中学校における給食の誤嚥対策について

各施設での給食の誤嚥対策や誤嚥に対してのマニュアル作成状況、職員の情報共有の方法、研修内容について調査を行い、誤嚥に限らず不測の事態に対応できるよう職員研修を行っており、職員間の情報交換もしっかり行われていることを確認しました。

○部活動の地域移行の進捗について

令和7年度末を目途に中学校の休日の部活動から段階的に地域に移行することを確認しました。今年度実証事業を行い、運営体制の課題などを整理するとのことでした。



4月26日(金)本会議

- ・開会
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・諸般の報告
- ・市長提出議案説明・質疑・討論・採決
- ・(議案第1号から第2号及び報告第1号)
- ・議員派遣の件
- ・閉会

概要

令和6年第2回臨時会は、4月26日の1日間の会期で開かれました。市長から、銚田市副市長の選任についての議案など2件が提出され、1件の報告がなされました。今臨時会に、提出された議案はすべて全会一致で可決されました。



主な日程

全会一致で可決した議案等

会議名	議案等	
第2回臨時会	第1号	専決処分の承認について 銚田市税条例の一部を改正する条例
	第2号	銚田市副市長の選任について (横田 清泰氏)
	報告第1号	専決処分手項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について



市長提出議案
概要はこちら

お知らせ

議会映像配信をご利用ください

一般質問や採決などの本会議の様子は、インターネットを使用したライブ中継や録画配信を行っています。

インターネット環境があればいつでもどこでも議会を視聴することができますので、ぜひご活用ください。(録画配信は概ね1週間程度で反映されます)



視聴はこちら

旭地区と大洋地区でも視聴ができます

インターネット環境がない方は、旭総合支所及び大洋公民館にて**ライブ中継の視聴**ができますので、ご活用ください。お近くにお住まいの方も立ち寄った際はぜひ!

市内3箇所でライブ中継をご覧いただけます。

- ・銚田市役所 1階ロビー
- ・旭総合支所 1階ロビー
- ・大洋公民館 1階ロビー



ライブ中継をご覧
いただく際の注意



旭総合支所



大洋公民館



視察研修報告

市役所

市長と担当職員も参加しました！



見据えたものとなるよう、各自治体の取組み及び先進事例について調査・研究を行う

岩手県 紫波町 公民連携手法を用いつつ 経済開発でまちづくりを

再開発に向けて駅前土地を取得し、公共施設の整備と民間による経済開発を目的とした「紫波町公民連携基本計画」が策定され、新たな都市像の創出「オガールプロジェクト(紫波中央駅前都市整備事業)」が立ち上げられました。オガールプロジェクトでは、公民連携手法を用いつつ財政負担を抑えながら、役場や図書館などの公共施設整備を行い、宿泊施設やショッピングゾーン、住宅街などの民間施設の立地による経済開発でまちづくりが進められていました。



庁舎内部の空間は、ワンフロア型の見通しの良い庁舎空間が確保され、将来のレイアウト変更などに柔軟に対応できるフレキシビリティの確保と大空間が形成されていました。さらに災害時の迅速かつ的確な意思決定ができるよう災害対策室関係諸室を同一フロアで隣接配置、また災害対策室の情報は各所執務室でも確認できるようディスプレイを設置し共有できるようになっていました。

役場庁舎をはじめ、隣接する複合施設オガールプラザ等の施設概要の説明を受け、全体的にコンパクトで統一感のある印象を受けました。これまでの手法とは別の考えでの取組みや資金調達など大変参考になりました。



栃木県 壬生町 行政と町民が共創、ひとつになる「町のリビング」を



老朽化・耐震強度不足、狭あい化等の様々な問題を抱え、効率的な行政サービスの提供に支障が出ている状況から、今後50年・100年先の本町発展の拠点となる施設にふさわしい、子育てや福祉をはじめとする町民サービス提供に優れ、災害に強く、町民が安心して利用できる庁舎建設を目的に「壬生町の中心に行政と町民が共創し、ひとつになる『町のリビング』をつくる」を基本方針に5つの目的のもと計画されました。

庁舎内部は、動線を明確化するため無柱空間を用いて、町民の誰もが利用しやすいよう上下の移動がなく平面的に各種手続きが行えるよう窓口機能の集約化、さらに部署間の境界を設けないことによって組織改編や人事異動などの将来的な環境・ニーズの変化にもフレキシブルに対応が可能なユニバーサルレイアウトの採用が図られていました。また職員の執務環境にあっては、執務室近くに書庫が随所に配置されるとともに休憩室が完備され、町民ともども職員にもやさしい環境づくりへの配慮がとても印象的でした。

議場にあっては、傍聴席入口へのスロープの設置、車いす用傍聴席や親子傍聴席の設置といった町民に開かれた議会イメージであることが伺えました。



・文化の踏襲、議会に対しても十分な情報提供を行い、また議会側も特別委員会を立上げ議論を深めました。その結果、素晴らしい庁舎が完成し、いずれもランドマーク的なシンボルとなっていました。行ってみたいと思います。



視察研修報告

公共施設のあり方に関する調査特別委員会 視察研修(令和6年5月8日～5月10日)

目的 本市の新庁舎・公共施設等整備の取組みが、本市の発展、市民の安全・安心の確保など将来を

岩手県 遠野市 伝統と新しさが融合する 商業施設との複合庁舎

東日本大震災による市役所の被災から6年半の間、各部署を分散させて市役所機能を維持してきました。被災庁舎は、国からの財政支援を受け市民の理解と協力により分散した部署を集約できる規模を確保し、商業施設との複合庁舎として「中心市街地活性化の核となる庁舎」「市民の利便性の向上を目指した庁舎」などを新庁舎設計の基本コンセプトに、伝統と新しさが融合するデザインで、遠野の街並みと調和した庁舎として再建されました。



庁舎1階部は、地場産の木材の香りが漂うエントランスで市民を迎え、用事がなくても立ち寄れる吹き抜けの多目的ホールを配置、2階部には震災以降、ショッピングセンターとぴあに分散させていた庁舎機能は引き続き使用し、新庁舎と渡り廊下で接続し商業施設との複合庁舎とすることで、市民の利便性向上が図られていました。

新庁舎再建までには、市民50人による遠野スタイルにて庁舎機能のあり方を語る市民懇話会を設置・開催し提言書の提出、まちづくり検証委員会の設置、市民説明会の開催、市民ワークショップを実施するなど、たくさんの市民や有識者からの意見やアイデアをもとに進められていました。



栃木県 鹿沼市 安心で市民が利用しやすい庁舎

基本設計に至るまでの間、市議会及び自治会協議会など、市と関わりのある団体の代表者30名程で構成する市民会議や市民ワークショップの開催、パブリックコメントの募集など、市民との協働による合意形成が図られていました。また本事業に関する議会との関わりは、市議会市庁舎検討委員会に対し、きめ細やかな進捗報告がなされ、議会側からは、随時、提言を行うといった協働体制が構築されていました。

新庁舎は「安心で市民が利用しやすい庁舎」を基本として、8つの「望まれる庁舎像」を基本計画に掲げ進められ、特に防災機能においては、災害対策本部を常設、災害時でも連続72時間稼働可能な非常用発電設備の設置など、行政・防災本部としての庁舎機能を十分に維持でき、さらに歴史ある鹿沼城跡に建つ新庁舎は随所に鹿沼の景観を想起させる外観など鹿沼の歴史・文化が見事に表現されている庁舎の印象を受けました。

新庁舎各階のフロア構成は、市民の利用頻度の高い窓口部門を1・2階部に、行政の中枢部分を3階部に、まちづくり部門を4・5階部に効率よく機能的にまとめ、組織改編等の際にも柔軟に対応できる庁舎でありました。



今回、視察した4市町は、市民との合意形成を重視しており、その地域の歴史など、執行部ありきではなく市民一丸となったワンチームで庁舎建設へ取り組んで本議会としても、しっかりとした政策提案に努められるよう、今後も調査及び研究



掲載写真募集!!

あなたの写真を議会だよりに掲載してみませんか?

■写真のテーマ『発見! 魅力ある鉾田の風景』

(例 北浦などの水辺の風景、花いっぱいな風景 など)

■申込方法

下記の必要事項を明記のうえ、議会事務局まで画像データ持参またはメール(gikai@city.hokota.lg.jp)でお申し込みください。

- ・氏名・住所・電話番号・写真撮影場所(〇〇地区など)
- ・写真のタイトル(20字以内)

※団体名(〇〇クラブなど)も記載希望の方は、そちらも明記ください。

※掲載スペースの関係上写真は横向き。メールでの画像データはJPEG形式で6MB以内。

■注意事項

画像等の返却はできません。また、人物等を含む写真の場合は肖像権の侵害等が生じないよう、事前に被写体の承諾を得たうえで申し込みください。



お申込みは
こちら▶



令和6年第3回定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3 本会議 (開会)	4	5 一般質問	6 一般質問	7
8	9 一般質問	10	11 本会議	12 本会議	13 本会議	14
15	16 敬老の日	17 決算特別 委員会	18 決算特別 委員会	19 決算特別 委員会	20	21
22 秋分の日	23 振替休日	24 決算特別 委員会	25 常任 委員会	26 常任 委員会	27 常任 委員会	28
29	30 本会議 (開会)	10/1	2	3	4	5

※日程は変更になる場合があります。

令和6年第2回定例会延べ傍聴者数 52名
議会映像配信視聴数 327アクセス
(令和6年6月6日～令和6年6月21日)

編集委員

委員長 羽成 洋一
副委員長 土子 勝也
委員 関根 正史 久保田 豊
鬼澤 治男 亀山 彰

新盆等のご挨拶を 自粛しております



公職にあるものは、公職選挙法により選挙区内の住民にお金や物を贈ったりすることが禁止されています。

市民の皆様にはご理解をお願いします。

※公職…国会議員、地方議会議員、都道府県知事、市町村長など



傍聴者の声

インターネット配信を視聴して

鉾田市串挽
大原 俊雄

令和6年第2回定例会一般質問をネット配信により傍聴しました。

先に策定された第2次鉾田市総合計画後期基本計画「いのち」と「暮らし」の先進都市を目標に掲げた諸課題に取り組む姿勢、各議員からの質問も事前に準備、勉強されており、市執行部の答弁も細部にわたり説明され大変参考になりました。日本一の野菜産出額を誇る農業推進、市発展のため活発な議論を交わしていただいている中、先般、鉾田市は今年度初めて消滅可能性自治体に挙げられました。

新たな副市長を迎え、将来ある鉾田を目指す為、人口減少、少子化対策についても積極的な取組みを期待しております。

議会を傍聴してみませんか!

次回の定例会は

9月3日(火)～

開会は午前10時です

事前の予約は不要ですので、市役所3階事務局前にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。
※日程は変更になる場合があります。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

